

壁紙施工要領書

・汚れ防止 ・消臭+汚れ防止 ・スーパー強化

壁紙の特徴

汚れ防止壁紙、スーパー強化壁紙は壁紙表面にフィルムをラミネート加工し、汚れの浸透を防いで拭き取りやすくした壁紙です。一般のビニル壁紙と比較してやや壁紙が硬い傾向にあり、カールの発生や、寒冷時には出入隅部などの納まりが悪くなることがあります。そのため、一般ビニル壁紙に比べ施工難易度が高く、施工費が割増になる場合があります。フィルムによるツヤがありますので、天井は、壁面よりも光の加減で下地が見えやすく不向きです。あらかじめご了承ください。

1 作業確認

- 現場で確認すること
 - ・ 下地材の確認
 - ・ 施工する壁紙の確認

※貼替現場の場合、特に施工環境(養生範囲、作業時間)や、下地の状況を注意する必要があります。

2 事前準備

- 現場で必要になる道具を確認する
 - ・ 現場に必要な道具の準備
 - ・ 現場に必要な副資材の準備

接着剤使用数量目安：40～45㎡(6畳1部屋)

原液糊：10kg

希釈糊：5kg



3 施工環境の調整

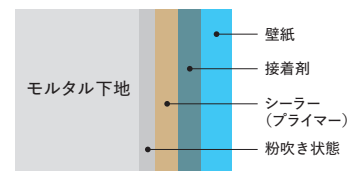
- 室内環境の調整
 - ・ 低温時は接着剤の接着が弱くなったり、商品が硬くなっていることがあるため、室内や商品を温めてから施工してください。
- 入念な下地調整をする
 - ・ 下地材の補修、補強をしてください。
 - ・ サインペン、マジックインキなどがそのままであると、色素が壁紙に移項する可能性があるため拭き取ってください。
 - ・ 下地を平滑にしてください。

4 下地調整

セメント系下地(モルタル、コンクリート)の場合

- 壁紙の変色を防止する
 1. 下地が十分に乾燥している状態(水分率11%以下)であることを確認してください。表面に白い粉がある状態や、乾ききっていない状態での施工は、施工後に壁紙に変色等が発生する可能性があります。
粉:炭酸カルシウム 灰汁:強いアルカリ性
 2. 吸水性の調整、灰汁止めとして、シーラー塗布をしてください。

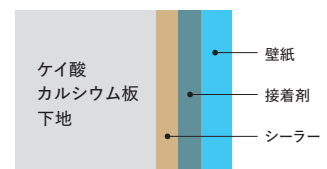
セメント系下地



吸水性の多い下地(ケイ酸カルシウム板)の場合

- 接着不良の防止をする
 1. 下地にシーラー塗布をして、吸水率の調整をしてください。
 2. パテ処理をしてください。

吸水性の多い下地



4 下地調整

木質下地(ベニヤ板)の場合

● 壁紙の変色を防止する

1. 下地にシーラー塗布をして、灰汁止めや、ヤニ止めをしてください。
2. パテ処理をしてください。

吸水性のない下地(金属)の場合

● 接着性の向上で壁紙の施工を安定させる

1. 接着力を高めるために捨て糊をしてください。
2. 捨て糊の付着が弱い場合は、シーラー(プライマー)処理後に捨て糊をしてください。

※塗料の劣化や剥がれがある場合、剥塗料面を除去する必要があります。

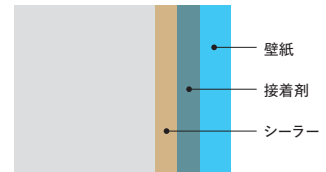
※フィルムラミネート壁紙は通気性・吸湿性が低いため、下地の水分や空気が残留すると膨れの原因となります。施工時には下地の状態を十分に確認し、必要に応じて処理を施してください。

捨て糊…接着力を高めるために、あらかじめ下地に塗る接着材のこと

シーラー…下地を整える役割：吸水性の高い下地に塗布し、下地と糊の密着性を高める

プライマー…接着を助ける役割：吸水性の低い下地に塗布し、下地と仕上げ材の密着性を高める

吸水性のない下地



5 接着剤と養生

接着剤を塗布する

● 下地状況、壁紙、その他条件を考慮し選定してください。

- 原液糊 ・糊付け機、手塗り共に均一になるように塗布してください。 ・スーパー強化壁紙には原液糊の使用を推奨します。
- 希釈糊 ・接着剤：水＝10：7を目安に、濃い目に希釈してください。 ・施工環境次第では、プラゾールSS等を混合し調整してください。 ・よく攪拌の上、均一になるように塗布してください。

参考副資材のご紹介

原液糊

ヤヨイ化学販売：RINO ウォールボンド工業：ウォールボンド100



プライマー

ヤヨイ化学販売：プライマーK ウォールボンド工業：パラダイン390クリーン/パラダインコンタクトセメントNo.1



希釈糊

ヤヨイ化学販売：ルーアマイルド ウォールボンド工業：スーパーグルー96α



補強材・捨て糊

ヤヨイ化学販売：プラゾールSS ウォールボンド工業：パラダイン390クリーン



シーラー

ヤヨイ化学販売：シーアップ、シーラー100+
ウォールボンド工業：パラダインシーラーセットアップ/パラダインMSコート



● オープンタイム

- オープンタイムは20～30分を目安に作業してください。
冬季・低温時には後伸びによるフクレを防ぐため少し長めにとってください。
- たたみジワがつかないように、大ききたたみ、上積みは避けるようにしてください。
フィルムが折れてしまいタタミジワが発生する場合があります。

オープンタイム…壁紙を貼る際に使う接着剤(糊)を塗布した後、壁紙を貼り始めるまでに必要な待ち時間



たたみジワに注意し、重ね置きを可能にするため、一度たたんだものを丸める「丸め置き」をおすすめします。



きつきたたむ



大ききたたむ

6 貼り付け

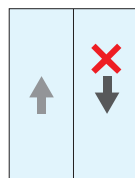
貼り付け時の注意事項

- 有効巾外や、耳と耳以外のジョイントは色違いが発生する可能性があります。
 - 壁紙は有効巾で使用してください。
 - 壁紙の耳と耳でジョイントをしてください。
- 壁紙の貼り付け方向を誤ると、色違いに見える可能性があります。
- 柄がない場合でも、貼り付け方向は統一するようにしてください。

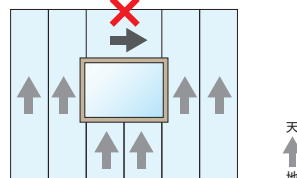
上貼り施工



天地逆さま

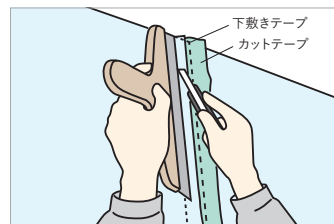
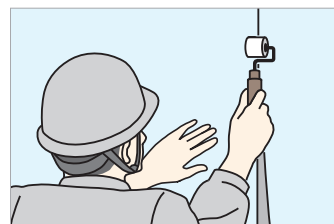


一部方向違い



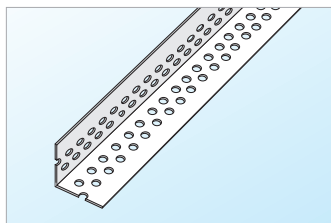
壁紙の貼り付け

- 突き付け施工の場合
 - ジョイント部分をやや重ねておき、全面を撫で終えた後に、ジョイント部分を戻すように修正しながらローラーをかけてください。
 - ローラーの掛け過ぎによる壁紙の艶変化、エンボスの潰れ、糊のはみ出しに注意してください。
- 重ね裁ち施工の場合
 - 下敷テープ等を使用し、下地に刃先が入らないようにしてください。
 - 定規と下地、壁紙に隙間がないように押さえてください。
 - カット途中で止める場合は、刃先をカット部から離さず、一定の力と角度で切るようにしてください。

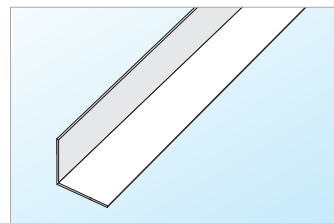


汚れ防止壁紙／消臭+汚れ防止

- 低温時は室内を暖める
 - 5°C以下の環境では糊の接着力が弱くなり、フクレや施工不良の原因となります。また、壁紙自体も硬くなりますので、施工効率が下がります。できるだけ室内を暖めて、壁紙を馴染ませ柔らかくしてから施工してください。
- 下地コーナー材は穴あきタイプを推奨
 - 穴あきタイプ以外では接着剤が乾燥せず、壁紙が浮いたり、かび発生の原因となる場合があります。
 - ただし使用環境や施工状況によっては、壁紙の浮きやかびが発生する場合があります。あらかじめご了承ください。



穴あきコーナー材



一般的なコーナー材

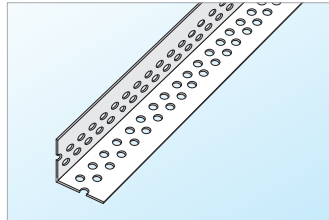
● なで付けの注意

- 特に、モルタル下地ではプラスチック製のヘラを使用し、ていねいに繰り返しエア抜きを行なってください。

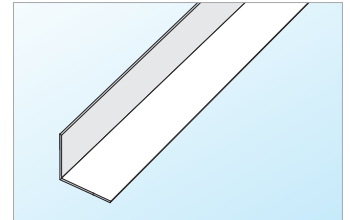
6 貼り付け

スーパー強化

- 冬季・寒冷地では室内を暖める
 - 低温環境では糊の接着力が弱くなり、フクレや施工不良の原因となります。また、壁紙自体も硬くなりますので、室温を15°C以上に上げて施工してください。できるだけ室内を暖めて、壁紙を馴染ませ柔らかくしてから施工してください。
- 下地コーナー材は穴あきタイプを推奨
 - 穴あきタイプ以外では接着剤が乾燥せず、壁紙が浮いたり、かび発生の原因となる場合があります。
 - ただし使用環境や施工状況によっては、壁紙の浮きやかびが発生する場合があります。あらかじめご了承ください。



穴あきコーナー材



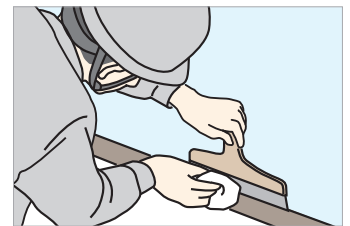
一般的なコーナー材

- なで付けの注意
 - 硬い壁紙のためプラスチック製のヘラを使用し、ていねいに繰り返しエア抜きを行なってください。
- 出隅・入隅
 - 出隅・入隅など角をしっかりと出すためには下地側にエチレン酢ビ系のポンドを捨て糊するなどの処置を行なってください。また、角部分の壁紙表面からきれいな布で、角をしっかりと押さえながら擦ってください。

7 仕上げ

壁紙表面のふき取り

- はみ出した糊を放置すると、シミや汚れになるためしっかりと拭き取ってください。
 - 綺麗な布に綺麗な水を含ませて拭き取ってください。
 - 同じ面で上下に拭きとらず、拭き取り面を変え、一方向で拭き取るようにしてください。
- ※水拭き用と乾拭き用があると、より作業性が向上します。



8 施工後

壁紙の施工後

- 1週間程度は自然換気をする
 - 接着が安定するまでは、冷暖房による急激な室温変化はさせないようにしてください。壁紙の剥がれやジョイントの目隙などの原因になります。

壁紙のお手入れ方法

- 表面に傷がつく恐れがあるため、強くこすり過ぎない
- 日常のお手入れは、布地の汚れを布やハタキでおそうじしてください。こまめな換気による乾燥で、室内の除湿を行なってください。